

西光寺だより

第七十四号 平成二八年 十月一日発行

●今月のことば ●※正信偈解説は来月号にて

境内の木々の剪定も無事に終わり少しづつ季節の移ろい秋の気配を感じる頃になりました。お逮夜などお参りをさせていただきます時は、一番に目に入ります仏花に季節を思わせていただきます。季節のお花からご先祖を偲ばせていただくことも物憂い秋の気配がそう思わせてくれているような気が致します。もう少しすれば京都西本願寺の银杏も西光寺の银杏も黄色に色づくことでしょう。

さてこの度の秋季永代経のご縁をいただきました布教使のお話の中に合掌のお話を聴聞しました。阿弥陀さまへのごあいさつは、合掌礼拝にはじまり合掌礼拝に終わります。合掌礼拝は、指をそろえて手を合わせ、『南無阿弥陀仏』とお念仏をとなえます。それは「み仏のお徳をたたえ、敬うこと」です。ので、「お礼をする」「感謝の気持ちをあらわす」ともいいます。

そして人は心から「ありがとう」の気持ちとともに手を合わせ、「いただきます」「ごちそうさま」と自分を生かしてくださるすべてのいのちに手を合わせます。「ごちそうさま」と自分をはからいが及ばないすべてに感謝し、そして敬いや慈しみの気持ちを込めて手を合わせる。

正信偈の中のでくる七高僧の一人、龍樹菩薩は、人間の一番美しい姿は合掌をしている姿だとおっしゃっています。その美しい姿の中で、不思議と穏やかであたたかな気持ちになることに感謝したいものです。

(光華・今月の言葉より)

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>

◆先月の報告◆

①九月十六日(金) 京都大谷本願墓参を皆様とご一緒に行いました。年に一度の皆様での墓参、無量寿堂で讚仏偈、お墓で重誓偈のお勤めをし、お焼香を致しました。浄土真宗を開かれた親鸞聖人の墓所で皆様とお参りをさせていただきますながら今のいのちにふれる大切な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。



無量寿堂、親鸞聖人御木像の前で



②九月二十五日(日) 秋季永代経法要を西光寺にて厳修させていただきました。二時から阿弥陀経、七時から正信偈のお勤めをさせていただきました。先人を偲ばせて頂きながら、お念仏の声が永代に続くようにとお勤めいたしました。御法話は春季永代経に引き続き茨木東組専念寺副住職に来ていただき、阿弥陀経の意味とお浄土について、そして浄土真宗の本堂の在り方(浄土真宗の本堂は、お参りをする方々が座られる所(外陣)が、仏さまを安置している場所(内陣)より広いのが特徴であり、それは一人でも多くの人が参拝できるように、親鸞聖人があきらかにされたお念仏の教えをみんなで聞かせて頂く道場からきているのでこういう形になった)について聴聞させていただきました。



●茨木東組念仏奉仕団参加者募集のお知らせ

平成二十八年年度茨木東組念仏奉仕団募集の時期になりました。浄土真宗本願寺派本山である京都の西本願寺にて清掃奉仕を通して愛山護法の念を深め、宗祖親鸞聖人のみ教えを肌で感じ、学びながら仏恩報謝の生活に生かされる浄土真宗の門徒としての生き方を改めて振りかえる場として、茨木東にある十八カ寺のお寺とその門徒さんで構成される茨木東組の恒例行事です。

今回は十二月五日（月）～六日（火）の一泊二日で行われます。

くわしい日程などは申込用紙に記載されていますが、西本願寺内の清掃活動をしていただき、ご門主様（本願寺住職）との記念撮影、そして龍谷ミュージアム観覧、東急ホテルでの懇親会、朝早くなかなか行く事が出来ない朝六時からの本願寺でのお勤め（晨朝参拝）、国宝の書院・飛雲閣拝観など、さまざまな西本願寺でしか味わえない時間を皆様と一緒に過ごしたいと思えます。締切は十月三十一日（月）です。費用は一五〇〇〇円です。詳細は西光寺までご連絡下さい。

●第二十五代専如門主伝灯奉告法要団体参拝のご案内について

平成二十九年四月二十八日（金）に京都西本願寺にて伝灯奉告法要が厳修されます。それにともない西光寺から総勢三十一名の皆様とご一緒に団体参拝をさせていただきますことになりました。つきまして参加される方を募集させていただきます。詳しくは別紙にてお配り致します。

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要の団体参拝では京都角坊にお参りをしてから本願寺に参拝しましたので、この度の団体参拝もどこかに寄りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆十一月・十二月の行事◆

・十一月 二十三日（水・祝）

報恩講法要

午後二時・午後七時

西光寺本堂

・十二月 五日（月）～六日（火）

茨木東組念仏奉仕団（希望者のみ）

西本願寺

・十二月 三十一日（土）

除夜の鐘

午後十一時五〇分

西光寺鐘楼